

いなみ町

議会だより

No.81
2019.5



春のおとずれ ～川又観音～

第1回臨時会・第1回定例会

P2～P3 平成31年度一般会計の概要

P4 議案審議 ● 総務分野

P5 ● 建設分野

P6～P7 ● 住民福祉分野

P8 ● 企画・水道分野

P9 委員会報告(介護と医療の総合展)

P10～P11 一般質問(2名が登壇)

P12 印南・寺子屋ふるさと塾

議案審議

第1回定例議会が3月8日に開会し、3月19日に閉会しました。
議案27件を慎重に審議し、全て原案どおり可決しました。

平成31年度の一般会計の当初予算は、50億2049万5千円と決定しました。

前年度と比べて1億4660万9千円、約3%増えました。

主な歳入

●町税(皆様に納めて頂く税金)

9億2454万円

【3516万5千円の増額】

(固定資産税(償却資産)や軽自動車税(環境性能割)の増加による)

●地方交付税

18億5000万円

【前年度と増減なし】

●国庫支出金(国からの補助金)

6億5526万1千円

【3001万4千円の増】

(プレミアム付き商品券事業の補助金・農林水産業補助金等の増額による)

●県支出金(県からの補助金)

4億5337万2千円

【3031万6千円の減】

(地籍調査費負担金・選挙費委託金等の減額による)

●町債(町の借金)

5億6390万円

【1820万円の減】

(公営住宅建設事業債・臨時財政対策債等の減額による)

主な歳出

●普通建設事業費(道や橋など)

11億7199万7千円

【1393万3千円の減】

(上道改良住宅建替え事業等の

減による)

●人件費(職員の給与など)

6億5831万1千円

【453万8千円の増】

(選挙費・統計調査費等の増額による)

●物件費(施設の維持管理など)

6億5961万1千円

【5250万8千円の増】

(防災カメラ整備・防災行政無線の再送信局改修等による)

●公債費(借金の返済)

6億5270万円

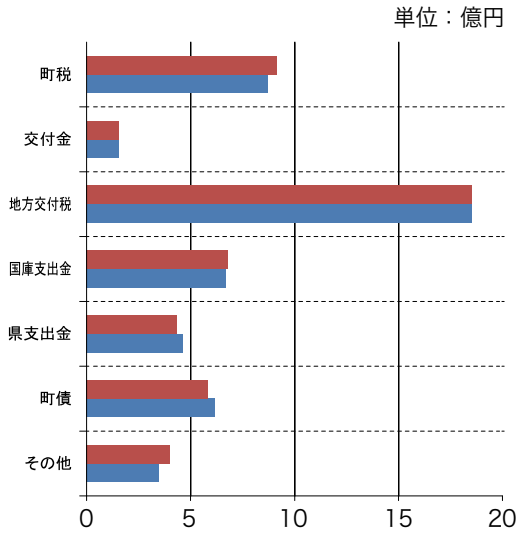
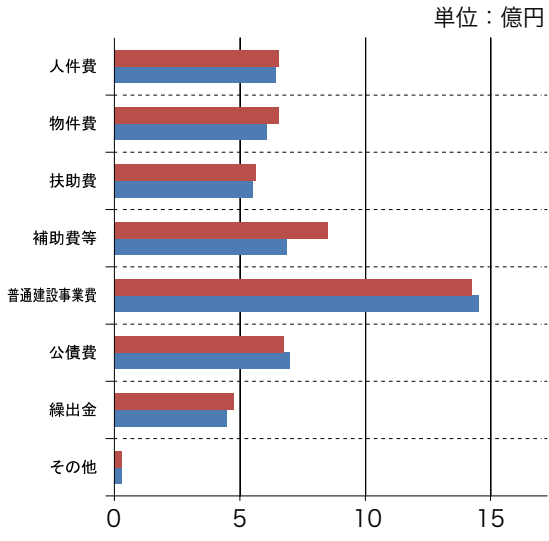
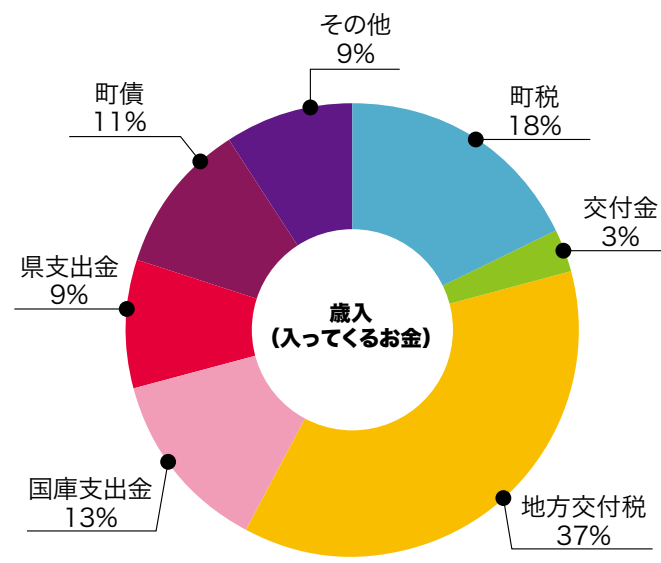
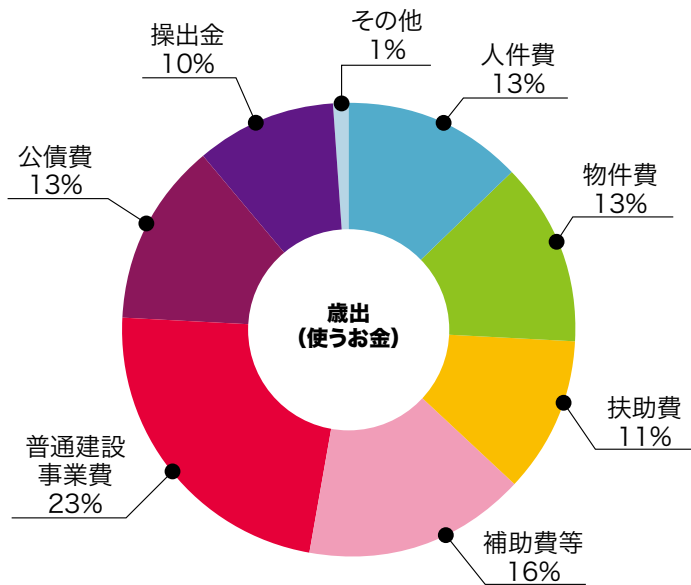
【2042万8千円の減】

(元利償還金等の減による)



平成31年度一般会計予算

総額 50億2,049万5千円



上の円グラフは、予算全体の内訳を示します。また、左の棒グラフは前年度との比較を表します。赤が31年度、青が30年度です。

会計区分	31年度当初予算	30年度当初予算	増減率	中島	夏見	前田	藤薮	杉谷	岡本	藤本	古川	榎本	玉置	堀口 [※]
一般会計	50億2049万5千円	48億7388万6千円	3.0%増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別会計	国民健康保険事業	12億8333万0千円	12億8053万3千円	0.2%増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療	2億1882万9千円	2億1446万2千円	2.0%増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険事業	10億 85万9千円	10億 504万9千円	0.4%減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	滝ノ岡専用水道事業	1069万1千円	977万6千円	9.3%増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	農業集落排水事業	1億6740万1千円	1億5170万9千円	10.3%増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同和対策新築家屋貸付金	118万4千円	118万2千円	0.2%増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
印南町水道事業会計	3億4577万9千円	3億3091万0千円	4.5%増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長は裁決に加わりません。

集会所の長寿命化について

改修補助金 1200万円

質疑

計画では今回が最終年度とのことですが、どのような計画になっていますか。

答弁Ⅱ総務課長

この補助金は、初年度は600万円、第2～4年目は800万円ずつ計上しました。

最終年度の今回は12件の申請があり、必要な金額を計上しました。

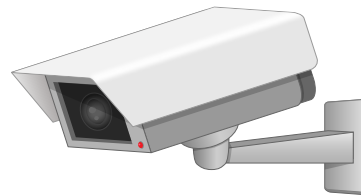
今後、必要であれば検討していきたいと考えています。



見守りカメラについて

保守点検料 22万円

質疑



見守りカメラは現在町内6ヶ所に設置されていますが、今後も町単独で設置していかないのですか。

質疑

答弁Ⅱ総務課長

今年には県からの補助金（2分の1）が切れたので、当初予算では計上していませんが、地元からはもっと設置してほしいという要望もあります。

今後有利な財源を探するなど知恵を絞り、新たに補正予算でも対応していきたいと思いません。

資機材の購入について

240万円（前年比90万円増）

質疑

防災用資機材とは、具体的に何を購入するのですか。

答弁Ⅱ総務課長

ブルーシートや折りたたみ式の給水用タンク・ランタンなどを配備し、停電や断水に備えます。

自主防災組織について

支援補助金 448万円

質疑

支援補助金の内容を教えてください。

答弁Ⅱ総務課長

町内の47の自主防災会に対し、自主防1つにつき2万円＋1世帯につき200円で交付します。

防災訓練や研修会、資器材購入の補助等のためです。

避難路の整備について

測量設計 200万円
不動産登記 100万円
用地購入 100万円

質疑

避難路整備の計画を教えてください。

答弁Ⅱ建設課長

現在、浜集会所前から東側へ30m、幅員約3mの道を整備しています。さらに25m延長して、要害山へ逃げる避難路と結び予定です。



建設分野

漁港の修繕について

収入「協力金」 100万円

質疑

詳細を教えてください。

答弁II建設課長

崎山の島田漁港の降り口に、地元管理の道があります。波により侵食されたので、約10mにわたり補強工事を行ないます。地元からの協力金と、町と漁業振興基金で、それぞれ3分の1ずつ出し合って進めます。

海岸保全施設について

測量設計 1700万円

質疑

内容を説明してください。

答弁II建設課長

元村の国道沿い海岸の越波対策です。パラペット（堤防）のかさ上げや消波ブロックのかさ上げ等を計画しています。

道路の新設・改良について

工事費 3億6110万円

質疑

工事内容を説明してください。

答弁II建設課長

●稲原道成寺線 延長724mの改良。今年度で完了の予定です。

●殿平農免線 延長390mの新設・拡幅。現在の進捗率は56%、今年度での完成を目指します。

●南谷山口2号線 延長110mの拡幅。本年度で完了予定。

●奈良井白河線 白河企業団地内を通る路線延長670mの拡幅。進捗率は26%。30年度は用地買収、補償等していません。

●法面対策 場所は稲原中学校前からJR高架をくぐり200m先のカーブの所です。約20m、吹付の劣化やひび割れに対応します。

●印定寺中学校線 ココカラファイン店から印南小学校体育館前の190mを拡幅。

地籍調査事業について

委託料 1億7391万円強

質疑

今年度の事業実施場所と、今後の予定を教えてください。

答弁II建設課長

中越・榎川・南谷・奈良井・宮ノ前の5地区を予定しています。筆数は2403筆、面積は7.03km²です。

現在の進捗率は55%で、平成31年度中には約60%を目指します。

平成24年の長期計画では平成36年度の完了を目指し、現在、取り組んでいます。

臨時議会

1月30日、臨時議会が招集され、小学校のエアコン設備に関する工事請負契約について議論しました。工事は印南・稲原小学校と、切目・清流小学校の2つに分けて発注します。議論の結果、満場一致で可決しました。

1月30日 第1回臨時議会		中島	夏見	前田	藤薮	杉谷	岡本	藤本	古川	榎本	玉置	堀口 [*]
工事請負契約 2件	印南・稲原小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
(小学校に冷暖房設備を設置する工事)	切目・清流小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議長は裁決に加わりません。

プレミアム付き商品券

収入(国から) 1000万円
 収入(個人から) 4000万円
 支出 5000万円
(事務費を除きます)

質疑

目的と担当窓口、対象者、事業内容等を教えてください。

答弁 II 住民福祉課長

この事業は、消費税の増税対策で、住民福祉課が担当します。対象は今年6月1日現在で印南町に住居登録されている方の中で、①住民税が非課税の方(課税者に扶養されている方、生活保護世帯を除く)②3歳未満の児童がいる家庭の世帯主です。内容は、2万円で2万5千円相当の商品券を購入できます。販売開始日や利用可能な店舗は未定です。今後の確に対応していきます。

病児・病後児保育について

・事業負担金 50万円

質疑

対象者・対象の病気・受け入れ施設・料金について説明してください。

答弁 II 住民福祉課長

●対象 入院不要な病状(急性期)回復期)で、生後9週から就学前の児童(例外あり)。保護者の就労・疾病等で保育困難な場合に限ります。
 ●病気 カゼ・腸炎・感染症(麻疹・風疹・水ぼうそう)・慢性疾患(ぜんそく等)・外傷性疾患(骨折・やけど等)
 ●施設 北出病院内の病児保育室「ひまわり保育室」
 ●料金 1日(午前8時から午後6時)の場合、町民税課税世帯は2千円、非課税世帯は1千円。半日ならその半額。(生活保護世帯は免除。)

新生児の聴覚検査について

・新規事業 55万円



質疑

この事業は今までもしていたと思いますが、予算として新規になっているのはなぜですか。

答弁 II 住民福祉課長

元々医療機関で実施されていましたが、その費用負担については認識があまりありません。今回は、公費で負担する意思を明確にしたということです。1件につき1万円が上限です。

子育て世代包括支援センター

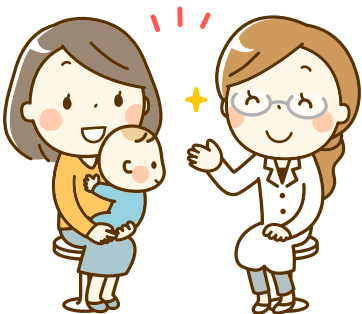
・新規事業 511万円

質疑

この事業では、どのような取り組みをされるのですか。

答弁 II 住民福祉課長

●産後ケア事業 妊娠時から子育て期までの切れ目のない支援です。産後うつ予防や、うつにかかった人にデイサービスを行ない、また、重症になれば宿泊を伴うサービスを行います。
 ●新生児訪問事業 産後の家庭へ助産師が巡回します。
 ●妊婦健診・産婦健診(出産後の健康診査)への公費支出



住民福祉分野

国民健康保険事業について

・国保会計へ 7000万円繰入

概要説明

平成30年度補正予算において、福祉基金から7000万円を取り崩して一般会計へ繰り入れ、同額を町単独の税率調整交付金として国保会計に繰り出しました。

国保財政の赤字補填と、平成31年度の税率据え置きのため実施します。

質疑

平成30年度から国保事業が広域化されましたが、平成31年度の県への納付金、また、印南町の国保税率は、どのようになりますか。

答弁 II 税務課長

県に納める確定納付金は増加します。しかし、今回の繰り入れにより、平成31年度の印南町の国保税率は据え置かれます。

24時間あんしんコール

・相談支援委託料

24万円



質疑

障害者等緊急相談支援事業の内容を教えてください。

答弁 II 住民福祉課長

24時間体制で障害者等からの電話相談に対応できるよう、社会福祉協議会に委託しています。

そこへ連絡すれば、必ず誰かに繋がるようになっていきます。

手話奉仕員の養成研修

・委託料

10万円

質疑

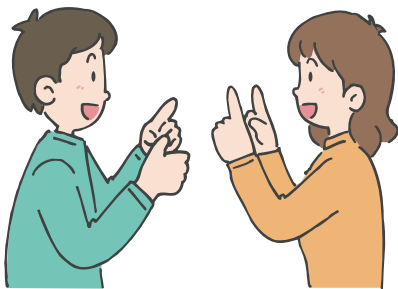
今年度は何回・何名を予定していますか。

答弁 II 住民福祉課長

この事業は御坊市を含む日高管内の自治体が共同で設置します。

今年度は美浜町の中央公民館で週1回、計52回実施します。

なお平成30年度においては、印南町からは6名が入門編を、5名が基礎編を受講・卒業しました。



高齢者筋力トレ事業

平成30年度は25万2千円
平成31年度は計上なし

質疑

高齢者筋力向上トレーニング事業の予算が今回計上されていないのは、利用者が少なくて事業をやめたのですか。

答弁 II 住民福祉課長

現在では行政が主催しなくても自主的に実施するほど、町内各地でグループが育っています。介護保険特別会計にも地域密着型サービスの予算があるので、全体額としては減額ではありません。



議案審議

企画・水道分野



切目駅舎リノベーション

収入(過疎債)	1590万円
支出(工事等)	1596万円

質疑

工期と工事内容はどのようになって
いますか。

答弁 II 企画政策課長

●**工期** 5～6月に発注、9～
10月に完成予定です。

●**内容** 耐震化・シロアリ対策・
待合室・キッズルーム等

大型共同作業所について

・設置条例の廃止

概要説明

印南町肥料製造大型共同作業
所の用途廃止に基づき、条例を
廃止します。

質疑

この作業所の歴史的な役割に
ついてご説明ください。

答弁 II 企画政策課長

町内には同様の作業所が他に
3ヶ所ありましたが、いずれも
既に用途廃止しています。現在
は福祉事業団が運営していた
り、民間でシイタケを栽培した
りしています。

いずれにしても、法の目指す
地域の雇用確保として運用をス
タートし、一定の成果を収めた
ため、今回条例の廃止に至りま
した。

未来投資事業について

・新規事業	700万円
-------	-------



質疑

内容と目的は何ですか。

答弁 II 企画政策課長

町道殿平農免線の410mに
おいて水道施設を整備します。
住宅用地確保、防災対策、人
口減少対策、若者定住促進を目
的とします。

農業集落排水事業について

・機能強化	2190万円
・発電機購入	152万円

質疑

機能強化事業の対象地区と内
容を教えてください。

答弁 II 生活環境課長

平成31年度は山口地区です。
前年度は古井地区で行いまし
た。共栄地区は新しいので、当
分先です。

内容は、膜やポンプの交換・
修繕等です。

質疑

購入する発電機の設置場所等
について教えてください。

答弁 II 生活環境課長

設置場所は決まっています
。発電機はマンホールポンプ
を稼働させるため、1基購入し
ます。固定式ではありません。

委員会活動報告

文教厚生常任委員会報告

◎中島 洋 夏見 公久 杉谷 孝祥
 ○玉置 克彦 藤本 良昭 榎本 一平

◎委員長
 ○副委員長

■テーマ【福祉事業について】

【日時】

平成31年2月20日

【場所】

インテックス大阪

今回は「医療と介護の総合展」と題して780社が出展し、大変な賑わいでした。我々はその中でも、「介護」分野の展示を中心に視察を行いました。介護分野では190社が出展し、様々な工夫を凝らした新商品が展示されていました。



(委員長所見)

5年前に同様の展示会を視察した時は、イス・介護ベッド・トイレ・歩行補助具などがメインでしたが、今回の展示会ではデータ管理用パソコンやAIを駆使したロボットなど、「介護する側の人」の目線に立った介護用品がたくさん出展されていました。また、外国人を介護・医療施設へ派遣する人材派遣の紹介ブースも、前回にはなかったものです。これらは、日本の高齢化・人材不足が進行していることの表れであると実感しました。

技術の発達は驚くばかりですが、日本人の人材不足が深刻になっている現状に気づかされ、大きな課題が見えた視察研修でした。

3月15日 第1回定例会		中島	夏見	前田	藤薮	杉谷	岡本	藤本	古川	榎本	玉置	堀口 [※]
条例の改正・廃止等 12件	職員の勤務時間、休暇等に関する条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	印南町報酬及び費用弁償条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	消費税率の引き上げに伴う関係条例の整備に関する条例	制 定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	印南町大型共同作業場設置条例	廃 止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	印南町災害弔慰金の支給等に関する条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	印南町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	印南町水道法施行条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	印南町水道事業給水条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	印南町専用水道の設置に関する条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	印南町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	印南町特定教育・保育施設等の利用者負担に関する条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	印南町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成30年度 一般会計・特別会計 補正予算(5件)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
その他	町道路線の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	印南町辺地総合整備計画の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議長は裁決に加わりません。

一般質問



岡本 庄三 議員

旧庁舎について

質問 危険な旧庁舎の解体予定については、昨年3月議会では「31年度をメドに」と言われていましたが、今後の予定をお聞かせください。

答弁 企画政策課長 「31年度をメドに」という答弁は私の記憶にありますし、その思いというのはその当時の思いです。

あくまでも単費で1億円の予算を投入する考えはございませぬし、有利な財源を担保として事業実施することが重要であると考えていますので、行政全般の施策の中で、旧庁舎の利活用ということについても協議を重ねながら方向性を出していきたいと考えています。

再質問 今後の利活用等の予定をお聞かせください。

答弁 企画政策課長 解体撤去を行って、跡地を観光またはレクリエーション施設



に整備というような考えで、これまで調査・検討してきました。「有利な財源を」ということは常々申し上げてきましたが、過疎対策事業債については、全般の行政施策の優先順位等々を加味しながらの財政運営ですので、総合的な判断の中で事業着手には至っていないということ、理解を願いたいと思います。

いなみ防災広場について

質問 いなみ防災広場についてであります。平成26年6月7日付の地方紙では、「印南町は大地震発生時に備え、高速道路印南SAの下り営業施設西側の谷を60万㎡埋め立て、いなみ防災広場を建設する。」

震災の際、重要なライフラインとなる高速道路沿いの立地を生かし、自衛隊の派遣基地や救援物資の集積場とし、町内だけでなく広域的な支援拠点を目指す。

埋め立てには高速4車線化による残土を活用し、完成は10年後を見込んでいます。この記事が掲載されていましたが、そこでお聞きいたします。進捗状況をお聞かせください。



答弁 建設課長 現在は9万㎡で、青垣内トンネル15万㎡、SAが2万から3万㎡、島田トンネルが7万㎡ということ、約33万㎡は今現在可能性の高い数字と考えています。平成33年12月、印南インターまで4車線化が施される、ぜひともこの60万㎡に近い数字に持っていきたいと考えています。

ここが聞きたい!



榎本 一平 議員

乳幼児のおむつ購入代への補助を

質問 由良町では2歳までの幼児在宅世帯に対し、月5千円のおむつ購入券の補助を行なっています。

日高川町では平成31年度の新事業として、乳幼児のおむつ購入費用として1年分で3万6千円を助成する制度がスタートします。

このような事業は、印南町ではまだ行なわれていません。2町の取組に対し、基本的な見解を求めます。

答弁 住民福祉課長

当町は県下初の18歳までの医療費の無料化など、子育て支援を実施し、健やかな成長のために努めてきました。

その時々時代のニーズを的確につかみ、制度検証する必要があることは勿論ですが、地に足をつけた施策の継続に今後も努めます。

質問 今回、私に取り上げた事業について、考え得る範囲なのでしょうか。

答弁 住民福祉課長

制度の内容を検証して、実施するのがふさわしいかどうかの議論をしながら進めて行くことは当然と考えます。

国の新事業も活用し、ブロック塀の改善を

質問 当町では災害時の避難ルートとブロック塀への対応として、危険と思われる、改善しなければならぬブロック塀の実態はどうなっていますか。

答弁 総務課長

大阪北部地震以降、862件の緊急点検を行ない、建築士による点検で基準の不適合が606件あることが判明しています。

質問 予算措置として、当町では県のパワーアップ事業と町予算で対応されてきたのでしょうか。

答弁 総務課長

財源については県が行なうパワーアップ事業を活用してきました。町が個人の方に補助した内、2分の1が県予算です。

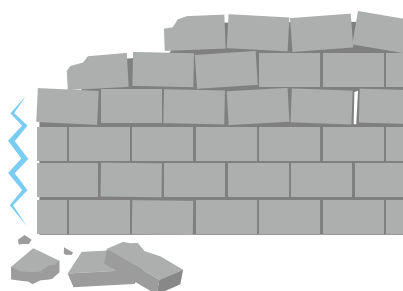
質問 国が示した「防災・減災・国土強靱化」の3ヶ年緊急対策では、地方自治体が活用しにくかった制度が緩和され、利用しやすい条件が生まれました。

この制度を積極的に活用し、危険なブロック塀の改善を推進しては、と
言う提案ですが、見解を求めます。

答弁 総務課長

今後、ブロック塀の対応として「防災・減災・国土強靱化」の緊急対策の中で、「交付金は使える」と把握しています。

ただ、制度が厳しくなる事も考えられるため、今後、検討したいと考えています。



「印南・寺子屋ふるさと塾」

印南町文化協会（歴史文化）

町の歴史文化の研究・発掘・伝承を重点的活動と位置づけて、新たにスタートしてから三年目を迎えます。

令和元年にあたり、引き続き、次世代に誇れる郷土の歴史文化を幅広く知ってもらう学習を目指しています。

その一環として「寺子屋ふるさと塾」は、この二年間に地域の各住職に講師として応援して頂き、地道に町のことを学んで参りました。

寺院には過去帳など、歴史を証明する確かな記述が数多くあり、「江戸時代・印南漁民」のこと、「宝永大地震、安政大地震の記録」発掘等々、地域の歴史探訪の宝庫として貴重な存在です。

印南町は、魅力的な歴史文化に恵まれています。これからも、忘れられた町の偉人のことなど、まだまだ知られていない事柄の発掘を試みたいと思います。

今年も引き続き、住職方の協力を頂き、「寺子屋ふるさと塾」を推進してまいります。

【今年度・担当講師】

池上省吾、塩路善澄、西山宝性
長岡智弘、嶋田隆道（各住職）
坂下緋美（語り部）

【サポート員】

久保田英介、叢信哲

【スタッフ】

坂下緋美、井川和代
熊代香代、朝間英子

追々、町内の寺院をくまなく探索し、加えて、町内の神社にまつわる祭礼の歴史文化伝承などを、共に学んで参ります。

今回は、「寺子屋ふるさと塾」の紹介ですが、他の活動についても追々紹介したいと思えます。地域の珍しい情報があれば、是非お知らせください。

〈年会費〉1000円

〈受講費〉参加時に200円

気楽に学習に参加出来ます。

申込書、詳細カリキュラムは印南町公民館にあります。

（電話）42-1702へ



今期講師陣とスタッフ



寺院で学習「ちょっと写経」

あしがき

「平成」からの旅立ち、「令和」がスタートしました。

この元号の誕生には様々な経過があります。まず出典は日本最古の歌集「万葉集」から引用され、「人々が美しく心寄せ合う中で文化が生まれ育つ」との意味が込められています。

また、和歌山県にとって、梅の花や「和」の字が含まれており、なんとなく感慨深さを感じます。日を追うごとに、広く国民に親しまれ、受け入れられるよう願ってやみません。さて、本号は当初予算の審議内容が幅広く載っております。

我々はあくまでも住民の代弁者であり、主役は住民にあることを決して忘れることなく、今後も頑張つてまいります。

（藤本 記）

議会広報特別委員会

委員長	中島 洋
副委員長	古川 眞
委員	藤本 良昭
委員	前田 憲男
委員	杉谷 考祥
委員	玉置 克彦

TEL 42-1739
FAX 42-8055